

オルフオイス III

君の歌はいまもつづく  
たえだえに  
遠くまでひびくので  
木の葉たちもうなだれるやうだ

君は地の果てまで  
君は時々涙を流す  
帰ることはないであらう  
愛するものは

鏡にうつる魔性の踊り  
柱のまはりを飛び廻る  
白い新聞紙

はじめは風のやうにいさましく  
やがてたゆたふかと思はれる  
オルフオイスよ 君の心のやうに